

9月16日(土) 事例研究第3室(723)

カリキュラム改革のその後

— 東京大学の場合

東京大学 岡 秀夫

新1・2年生対象の実力テスト(平成6年4月実施)について

新カリキュラムの成果をはかることを主たる目的として、入学したばかりの新1年生と、1年間新カリキュラムを受講した新2年生とを対象に、平成6年4月、同一問題による実力テストを行ないました。結果は以下の通りです。

	人数	平均点			合計
		問1 読む	問2 聞く	問3 聞く	
1年文1	696	22.86	21.36	13.30	57.53
1年文2	413	20.13	18.33	11.24	49.70
1年文3	488	21.24	20.63	12.77	54.64
1年理1	1234	18.28	18.98	11.40	48.66
1年理2	545	16.86	16.95	11.26	45.07
1年理3	83	27.28	24.06	14.93	66.27
1年合計	3459	19.83	19.42	12.02	51.27

	人数	平均点			合計
		問1 読む	問2 聞く	問3 聞く	
2年文1	450	24.49	23.07	17.77	65.33
2年文2	270	21.37	19.92	18.44	59.73
2年文3	392	22.99	22.57	18.43	64.00
2年理1	977	20.49	20.40	16.92	57.81
2年理2	419	17.55	19.71	16.89	54.16
2年理3	64	24.95	25.91	20.05	70.91
2年合計	2572	21.29	21.17	17.53	60.00

『教育・研究評価報告書』94.7

9月16日(出) 事例研究第3室(723)

2年結果

	最終平均	中間平均		期末平均	
		読	聴	読	聴
L1	74.5	31.0	34.6	34.5	27.9
L2	67.8	30.2	36.3	31.2	24.5
L3	71.9	32.3	39.6	33.6	25.7
S1	70.3	24.9	32.1	32.6	24.0
S2	68.5	32.3	31.1	31.1	23.6
S3	77.6	36.9	38.7	35.2	32.9

全体

	人数	割合
80-100	882	25.3%
65-79	1628	46.7%
50-64	778	22.3%
-50	102	2.9%
#	99	2.8%
合計	3489	100.0%

L1

	人数	割合
80-100	237	33.3%
65-79	316	44.4%
50-64	142	19.9%
-50	5	0.7%
#	12	1.7%
合計	712	100.0%

L2

	人数	割合
80-100	58	20.5%
65-79	208	73.5%
50-64	0	0.0%
-50	9	3.2%
#	8	2.8%
合計	283	100.0%

L3

	人数	割合
80-100	142	27.8%
65-79	236	46.3%
50-64	108	21.2%
-50	12	2.4%
#	12	2.4%
合計	510	100.0%

S1

	人数	割合
80-100	280	20.9%
65-79	617	46.1%
50-64	349	26.1%
-50	40	3.0%
#	52	3.9%
合計	1338	100.0%

S2

	人数	割合
80-100	124	22.1%
65-79	211	37.5%
50-64	168	29.9%
-50	36	6.4%
#	14	2.5%
合計	562	100.0%

S3

	人数	割合
80-100	41	44.1%
65-79	40	43.0%
50-64	11	11.8%
-50	0	0.0%
#	1	1.1%
合計	93	100.0%

英語 I 実行班の報告 95.4

9月16日(土) 事例研究第3室(723)

英語Iアンケート結果

	文I	文II	文III	文系全体	理I	理II	理III	理系全体	全体
(1) 聞き取り力が									
十分ついた	18	11	27	56	42	10	4	56	112
まあ少しはついた	114	75	126	315	283	91	4	378	693
あまりつかなかった	54	36	36	126	170	38	6	214	340
まったくつかなかった	12	10	13	35	64	12	0	76	111
最初から十分な力があつたので比較が難しい	8	9	10	27	27	8	0	35	62
計	206	141	212	559	586	159	14	759	1,318

	文I	文II	文III	文系全体	理I	理II	理III	理系全体	全体
(2) 読む力が									
十分ついた	13	5	15	33	44	5	3	52	85
まあ少しはついた	118	66	116	300	250	94	6	350	650
あまりつかなかった	48	48	75	171	190	53	5	248	419
まったくつかなかった	16	13	16	45	73	11	0	84	129
最初から十分な力があつたので比較が難しい	10	6	4	20	30	10	0	40	60
計	205	138	226	569	587	173	14	774	1,343

	文I	文II	文III	文系全体	理I	理II	理III	理系全体	全体
(3) 毎回の授業で聞くビデオは									
だんだん聞くのが楽になった	47	35	86	168	158	48	8	214	382
あまり変わらない	143	90	117	350	335	108	6	449	799
だんだん難しくなった	14	13	18	45	60	15	0	75	120
計	204	138	221	563	553	171	14	738	1,301

	文I	文II	文III	文系全体	理I	理II	理III	理系全体	全体
(4) 毎回読んでくるリーダーは									
だんだん読むのが楽になった	11	6	15	32	41	8	3	52	84
あまり変わらない	96	62	92	250	258	90	5	353	603
だんだん難しくなった	98	69	113	280	277	77	5	359	639
計	205	137	220	562	576	175	13	764	1,326

英語 I はこんな授業だった

——アンケートに寄せられた学生たちの声——

先輩とかから聞いた昔の英語の授業よりずっとおもしろいみたいです。ちょうどいい年に入学したような気がします。駒場の中で英語の改革は光っていました。がんばって下さい。(理I)

ビデオもリーダーも、よく考えて、学生の興味をひくように気を配ったあとと内容的にも厳選されたあとが見られたと思います。我々学生が今後必要なのは細かい単語や構文の暗記力ではなくて穴意をつかむ力だという主旨にも賛成です。(文I)

僕はあまり英語が得意ではありませんが、それでも教科の内容には興味を持てたし、リスニングもできるだけ集中して聞くようにしていました。おかげで入学当初に比べて英語の力がついた気がします。(入学したらめきめきと英語の力がおとろえると思っていたので意外でした。)(理I)

リーダーの題材について

個人的には、理系の記事は読みづらく、ついていけない感じがしたが、教養課程だからいいと思う。こんな形でなければぜったいにしない種の文をよまされたのも、ひとつの勉強なのだろう。人文社会系の記事はよかった。(文3)

理系の話題も興味深かったけれども、文系にはつらすぎる内容もありました。もう一歩易しい内容にはなりませんでしょうか。しかし、つらいくらいが我々にとってはよいのかもしれないけど。(文2)

理系的な話題が随分多かったようですが、文系の人はどう思ったのでしょうか、こちらが詩句のメタファーに苦しむように、彼(女)らもカオスやファジーの話題に音を上げるだろうという公平性は良かったと思います。(理1)

ビデオとリスニングについて

よい授業でした。英Iだけは来ようと思った。リスニングについては個人でも少しやっていたので、英Iだけの効果とはいえないかもしれませんが、特に2年になってからは毎回聞くのが楽になってうれしかったです。(文2)

ビデオの形式がいつも同じなところが飽きてしまう場合があるので、対話形式や学生に問いかけるようなもの、映画のようなものなどの形式を増やしてほしいです。(文1)

リスニングは1年の最初は単なる音の波(“つるつる”としかきこえなかった)にしかきこえなかったのが、最近は人間の言葉だとわかるようになりました。(理2)

本格的なリスニングを始めたのは大学に入ってからなのに、話すのがはやい。もっとゆっくり話すと、一文ごとに少し空白をあけるなどしないと、一度聞き取れなかったら、もうだめという状態になってしまう。(理1)

授業の進め方について

時間が足りないのでは仕方ないとは思いますが、一つ一つのテキストをもう少し“深く”読むことができればよかったと思います。(そうでなくても例えばおのおのの章について参考文献、関連書など(特に日本語の)が示されていれば、興味をもったことについてもっと深く知ることができてよかったとおもいます)(理1)

授業中に本文の解説に深入りしない方がよい。本文の内容checkはcomprehension checkの解説程度にとどめて、Listening等の解説etc.により多くの時間をさいた方がこの授業の特色をいかせるのではないかな。

本人がやる気にさえなればとても収穫が大きい試みであると思う。少なくともあてられたところだけ読んでくる様な授業よりはずっとやりがいがあり、おもしろい。題材は多少「理系へのあこがれ」が感じられ、教官のとてつもない「理系コンプレックス」が露見したが、皆さんもっと自信を持って！理系にしたって一部の「上澄み」以外はたいしたことはないのです。(理2)

担当の先生次第ですべてが決まる。ちっとも新形式の主旨を理解してない先生もいる。(もう少し主旨の徹底を!) 2年になって本当に楽しんだ。(理1)